

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成20年12月4日 (2008.12.4)

【公開番号】特開2007-113639(P2007-113639A)
 【公開日】平成19年5月10日 (2007.5.10)
 【年通号数】公開・登録公報2007-017
 【出願番号】特願2005-304330(P2005-304330)
 【国際特許分類】

F 1 6 B 5/12 (2006.01)

H 0 2 G 3/30 (2006.01)

F 1 6 B 2/22 (2006.01)

G 0 2 B 6/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 B 5/12 M

H 0 2 G 3/26 Z

F 1 6 B 5/12 F

F 1 6 B 2/22 C

G 0 2 B 6/00 3 3 6

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月20日 (2008.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の経路上に配索される線條体を、前記経路を画成する被取付体の係合溝に固定するための線條体固定方法であって、

前記係合溝に固定される前記線條体の固定側部分を長尺の線條体ホルダで保持することと、

保持した状態で前記線條体ホルダを該線條体の非固定側部分の外表面が外部露出するようにして前記係合溝に押し込むことと、

該係合溝の内面と前記線條体ホルダの外表面との接触面に働く面圧力により、前記線條体ホルダを介して前記線條体を前記係合溝に固定すること、
 を備える線條体固定方法。

【請求項 2】

所定の経路上に配索される線條体と、

該線條体の外表面の一部を露出させ他の部分を覆うようにして保持する長尺の線條体ホルダと、

該線條体ホルダに対応する形状に形成され、前記線條体の所定の配索経路を画成する係合溝を有する被取付体と、を備え、

前記線條体が、前記線條体ホルダを介し、前記線條体の非固定側部分の外表面が外部露出した状態で前記係合溝に固定された線條体固定構造。

【請求項 3】

前記線條体は、一端から内部に送り込まれた光を均一に反射するライトファイバである
 請求項 2 記載の線條体固定構造。

【請求項 4】

前記線條体ホルダは、前記線條体の軸方向に延在する底壁と、該底壁の両側から同一方向に立ち上がり、該底壁とで囲まれる空間を保持空間とする一对の対向壁とを一体に備える請求項 2 又は 3 に記載の線條体固定構造。

【請求項 5】

所定の経路上に配索される線條体を、被取付体上で前記経路を形成する係合溝に保持させるために用いられる線條体ホルダであって、

前記線條体の軸方向に延在する底壁と、該底壁の両側から同一方向に立ち上がり、該底壁とで囲まれる空間を保持空間とする一对の対向壁とを備え、前記線條体の外表面の一部を外部露出させ他の部分を覆うようにして前記線條体を前記一对の対向壁の根元側を支点とする弾性復元力により保持する線條体ホルダ。

【請求項 6】

少なくとも一つの前記対向壁の内面に、前記保持空間から前記線條体が抜け出すことを防止する内側可撓係止部が突設された請求項 5 記載の線條体ホルダ。

【請求項 7】

少なくとも一つの前記対向壁の外面に、前記係合溝から抜け出すことを防止する外側可撓係止部が外向きに突設されたことを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の線條体ホルダ。

【請求項 8】

前記内側可撓係止部及び前記外側可撓係止部の少なくとも一つが、保持される前記線條体の中心軸と平行になるように条設されたことを特徴とする請求項 5 ～ 7 の何れか 1 項に記載の線條体ホルダ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】